

釧路南ロータリークラブ会報

第2回 例会報告 2007.7.13 通算1213回

・点 鐘 佐野会長

・ロータリーソング
「我等の生業」

ソングリーダー 清水 哲会員

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

国際ロータリー第2500地区ガバナー 海田 司

国際ロータリー第2500地区ガバナー補佐 久島貞一

地区幹事 山崎 正

補佐幹事 中村幸史

・入会記念祝

和田 優会員 S60.7.19 (22年目)

・会長挨拶



本日は早朝より、会長幹事懇談会・クラブ協議会・公式訪問例会と長時間に渡り、お疲れ様でした。

海田ガバナーには貴重なお話をしていただき、大変勉強になりました。ありがとうございます。久島ガバナー補佐にはクラブ協議会において講評、適切な助言を頂き、ありがとうございます。今年度RI会長テーマ「ロータリーは分かち合いの心」クラブ発展、さらにはロータリーの発展には全てのロータリアンが新会員を連れてくる責務を分かち合わなければならないのです、とおっしゃっております。当南RCも創立26年目を迎え現在会員数25名という会員の減少となっております。南クラブも、会員増強の責務を分かち合い、充実したクラブにして行くことが必要です。又、今年度、海田ガバナーの地区テーマ「自然環境にロータリーを活かそう」と発表されました。当クラブでも継続事業である植樹例会を行い、今まで以上に環境問題について勉強し「共生」自然保護への取組に力を入れていきたいと思っております。海田ガバナーにおかれましては公式訪問が始まったばかりで南クラブで4クラブ

目の訪問になります。残り64クラブがガバナーのお越しを心待ちにしていると思います。どうぞお体に気をつけてまして、ご活躍して下さるようお祈り申し上げます。本日はありがとうございます。御座いました。

・幹事報告

* 第3330地区(タイ)GSE受け入れのお願い。

* 釧路ローターアクトより例会の御案内。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

和田 優会員 入会記念祝として

久島貞一ガバナー補佐

・本日のプログラム

「ガバナー公式訪問例会」

担当 会長・幹事

●海田ガバナー挨拶



こんにちは、本日はガバナー公式訪問例会といたしまして釧路南クラブさんにご訪問させていただきまして本当にありがとうございます。先刻、会長、幹事会、つづきましてクラブ協議会と貴重なお話、御懇談いただき感謝しているところです。誠に有難うございます。このたび、私、1月28日から2月3日までの1週間サンディエゴに於いて開催されました国際協議会に参加してまいりました。世界530の地区から参加したエレクトの一人といたしまして大変恵まれた環境の中で研修をさせていただきました。RI会長をはじめ、役員の方々、世界各地のエレクトにお会いできまして大変貴重な経験をさせていただきましたこれもひとえに皆様方のご厚情の贈物と深く感謝するところです。120万人の会員の間の共通する一本の強力な糸が存在するとすれば、それは、分かち合いという名の精神で出来た糸であります、ウイルクソンRI会長エレクトは語りかけてまいりま

した。“ロータリーとは何か” 最古の国際奉仕クラブのその 120 万人の会員が世界中でそれぞれの地域社会を改善するために努力しているものの 3 万 2 千のクラブが毎週人々のために毎週クラブ例会を開いている。そして日々何万件の有益で創造的で、ありとあらゆるプロジェクトを実施させております私ども全員が世界を変えるためにベストを尽くしております。大変なかなか聞こえのいい答えではないですか、しかし何か欠けている様な気がします。これではロータリーの正体を明らかにすることは出来ませんここにいる皆さんにとりまして又、私個人とりまして “ロータリーとは何か” ロータリーとは魔力に匹敵するものでありましよう。ロータリーの魔力とは普通の人々でもすばらしい仕事をやりとげられるわけでありませす。皆様の前でこうしてお話できるのもすべてロータリーが可能にしてくれたわけです。ロータリーのおかげで家族と仕事と地域社会を主軸として暮らしている皆さま、また私のようなものが日常の生活の枠をこえてそれ以上に何かを求める機会に恵まれるわけでありませす。ロータリーのおかげで、見知らぬ人々にたいして心を開いてそして何千マイルも離れた地域に自分の地元とかわらない愛を注げるような人間になれるのでありませす。なぜならロータリーとは、だれかれと区別なく全ての人類愛にほかならないのでありませすロータリーはその人類愛を表現し又、分かち合うすべをさずけてくれるわけでありませす。私達はクラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕を通じて分かち合います。これらのニーズにとり組むときにはどうかロータリーの真髓が愛でありその発露が親切心であることを思い起こしていただきたいと思ひます。家族、仲間、同士あるいは地域社会そして特に援助を受ける側の人々と接する際にどうか親切心を示していただきたいと存じるわけでありませす。お腹を空かした人に食事を持っていけばお腹を満たす事ができます。さらに食卓を共にするならば、その人の心をも満たす事ができるのではないのでしょうか。私達は皆「ポリオプラス・3h補助金」多くの人々を支える大規模なプロジェクト等ロータリーの業績を誇りに思っております。しかし友人のために用事を引き受けたり隣人に手を貸したり、といった様な日常のささいな行動も等しく大切なことではないのでしょうか、その様なささやかな行為をワーズワースは次のような詩を歌っております「良き人の人生の中で最良たる者それは誰も覚えていない様な名もなきささやかな親切と愛の行為」私達を感動させますところのロータリーの親切心と愛とは理屈とかけ離れたものでありませす。それは公式、あるいは貸借対象表とうてい表すことの出来ないものでありませす。愛と親切心その心こそはロータリーを可能にしているものでありませす。ロータリーは私達の手と心とが成し遂げる仕事を通じて示される愛ゆえに、すばらしいことといえるのではないのでしょうか。ロータリアンとして私達はただ口先だけで人類愛

を語るだけではありません。ロータリアンである私達はその愛を實踐し、そして分かち合い互いに助け合うことでござひます。こういった理由から 2007・2008 年度 R I テーマは「ロータリーシアーズ “ロータリーは分かち合いの心”」と発表されたのでありませす。以上 2007・2008 年度の R I テーマでありませす。このテーマのご理解深めていただければ誠に幸いと存じます。以上尚、その他に環境問題の取り組みのお話は省略いたします。

●お礼の言葉 福井パストガバナー補佐



・次回のプログラム

7月20日(金)

「役員・理事就任挨拶・活動計画発表Ⅰ」

クラブアッセンブリー

会場 釧路全日空ホテル

担当：会長・幹事

・点

鐘

佐野会長

今週の会報担当：佐藤玄史会員